

会 議 録

会 議 名	第25期小金井市公民館企画実行委員の会議 第8回		
事 務 局	小金井市公民館 緑分館		
開 催 日 時	平成31年3月5日(火) 午前10時~12時		
開 催 場 所	小金井市公民館 緑分館 学習室		
出 席 委 員	東委員、大島委員、大野委員、島田委員、杉井委員、横須賀委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	小磯主査、岡本主任、山本(非常勤)		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
会 議 次 第	<p>1 報告事項</p> <p>2 協議事項</p> <p>    (1) 子ども体験講座について</p> <p>3 その他</p> <p>    (1) ロッカー抽選及び利用者懇談会について</p> <p>    (2) 緑センターまつり準備会について</p> <p>    (3) 来年度の講座について</p> <p>    (4) 日程の確認について</p>		

## 会議結果(要旨記録)

司会：東委員

### 1 報告事項

特になし

### 2 協議事項

#### (1) 子ども体験講座について

小磯分館長：平成30年度の子ども体験講座は、野川のいきもの観察、ロボット教室、マジック教室、クリスマスリース作りを実施した。次年度も同じ内容での実施を予定している。4つの講座とも、平成30年度は受講率が80パーセントを超えており、平成29年度と比べても、約5.2パーセントアップした。利用者数も42人増えていて、結構好評だったので、来年度も継続してやっていく予定。この件に関して、ご意見があれば伺いたい。

岡本主任：ロボットの講座については、夏休みの自由研究に活用できるように7月か8月に実施したかったのだが、講師との調整がつかず9月になってしまったので、次年度は時期の変更も検討していいと思う。

杉井委員：私は、マジックの講座に参加したが、お子さんには少し難しいのではないかと感じた。

小磯分館長：利用者によって、簡単だという人もいれば、もう少しレベルの高いものをという人もいる。前年度も参加した人がいるので、前年度と同じ内容にならないように、色々な年代の方に楽しんでいただけるように講師と相談して決めた。

杉井委員：参加者アンケート結果のよかったという意見だけではなく、改善点の提案や意見も参考にしていきたい。

岡本主任：2月の公民館運営審議会では、クリスマスリース作りの際に、子どもたちが自分たちで拾ってきた素材を使ってもいいのではという意見が出された。そういう意見も今後参考にしたいと思っている。

東委員：マジック教室とクリスマスリース作りの講座を手伝って感じたことだが、集金がある場合は混雑するので、集合時間と講座の開始時間をずらした方がいいのではないか。

杉井委員：並んでもらって、慌てずに対応するしかないと思う。

### 3 その他

#### (1) ロッカー抽選及び利用者懇談会について

岡本主任：3月29日(金)に実施する。利用者懇談会も併せて実施する。昨年度は、ロッカー抽選会の後に利用者懇談会を実施したので、利用者懇談会の参加者が少なかった。なので、今年度は、利用者懇談会の後にロッカー抽選を実施する。

#### (2) 緑センターまつり準備会について

岡本主任：3月19日(火)午後2時から第28回緑センターまつりの一回目の準備会を開催する。企画実行委員のみなさんは全員出席していただきたい。

大島委員：センターまつりの日程を教えて欲しい。

岡本主任：5月31日、6月1日、2日。一回目の準備会で備品の数、スケジュールの案を示し、二回目の準備会までに確認していただき確定する。

(3) 来年度の講座について

岡本主任：来年度の予算でまだ内示の段階なので確定ではないが、市民講座に保育の予算がついた。来年度の市民講座は、保育がついていることをふまえて講座の企画する必要がある。

杉井委員：保育つき講座をやっても意外に集まらないとか色々な議論があるが、保育に優しい町という印象がないと若い人は移り住んでこない。その点では小金井市はとて遅れている。

大島委員：高齢者学級の内容は決まったのか。

山本非常勤：大体の内容は決まった。4月15日号の市報と4月号の月刊こうみんかんで募集する。往復はがきでの応募で、4月20日必着。応募者多数の場合は抽選。

岡本主任：3月10日に国際交流イベントでラオス料理の調理自習を行う。ご都合がつく方はご協力をお願いしたい。調達する食材の量を把握したいので、来ていただける方の人数を知りたい。

大野委員：担当ではないがお手伝いする。

杉井委員：多分来れると思う。

岡本主任：3月16日に実施する市民講座について、当初は企画実行委員のみなさん全員にご協力願いたいと申し上げていたが、会場設営を職員で行うことにしたので、ご都合のよい方だけ来ていただければ結構だ。集合は5時30分集合。受講申込者が49人で、定員に達していないので、以前島田委員からお話があった知り合いの方の参加も可能だ。ただ、49人の方は往復はがきで応募されているので、知り合いの方にも往復はがきでの申込をお願いしたい。

島田委員：僕の知り合いで現役の教師をやっている人何人かに市民講座について話したら、市報を見ていないので知らないと言われた。宣伝には全くなっていないので、宣伝の仕方を考えた方がいい。往復はがきでの応募も「何でそんな面倒くさいことをしなければならないんだ。」と言われた。僕は、往復はがきでの応募だと人は集まらないと言ったが、聞き入れてもらえなかった。30人も席が余っていて講師に失礼だ。

杉井委員：何故、往復はがきにこだわるのか。

岡本主任：こだわっている訳ではなく、定員を超えることが予想される講座については、抽選になるので往復はがきでの応募にしている。

杉井委員：定員を超える応募があつて抽選になるだろうと予想して往復はがきでの応募にしたのに、予想が外れた訳だから、その点は反省して欲しい。

岡本主任：応募人数に関して予想が外れてしまったのは確かだが、往復はがきの応募にしたのはそれだけの理由ではない。電話での受付だと、受け付けをしたのにリストい名前がないなどのトラブルが発生する可能性があるからだ。

杉井委員：でも、他の館の応募方法は、必ずしも往復はがきではないではないか。

大島委員：そんなことはない。他の館でも定員を超える応募があると予想されるものは往復はがきでの応募だ。

横須賀委員：島田委員の知り合いであれば、数名ならば往復はがきなしでの参加もいいのではないか。

岡本主任：では、妥協案として、参加を希望されている知人の方の住所、氏名、電話番号

年齢をお知らせいただき、受付をせずに参加していただくというのはいかがでしょうか。また、ホームページにてお知らせして、あと30人の追加募集を行う。

杉井委員：今回の市民講座のポスターは講師の似顔絵が使われていたが、写真にしなかった理由は何なのか。

岡本主任：写真にこだわらなくてもいいと思う。似顔絵を大島委員にお願いしたが、講師の特徴をよく捉えているし、とても親しみやすいと思ったので、似顔絵を起用した。講師にも確認していただいた上で許可もいただいている。

杉井委員：写真じゃなかったのがインパクトが足りなかったのではないかと私は感じた。

大島委員：ポスターは、講師に確認していただいて了承を得ているからいいのではないか。

杉井委員：講師に依頼すれば写真を手に入れることはできたのではないかと思うし、私は写真を使った方がよかったと思う。

横須賀委員：私はこのポスターでいいと思う。

杉井委員：どこに反省点を見出すかだと思う。何か原因があるはずだ。当初はもっと大勢来ると思っていたのに、何故来なかったのか。

大島委員：一つには、講座の開始時間が遅かったからではないか。

横須賀委員：確かにそれはあると思う。

島田委員：講師には、その遅い時間に無理にお願いして来てもらったのに、受講者が少ないのは講師に申し訳ない。前回も言ったが、講座のテーマも内容も変更になって講師に非常に失礼だ。

杉井委員：私もこの時間でこの題目はどうかなと思った。人を集めるのはかなり大変になってくるだろうなと私は思った。

岡本主任：講師には、講座のテーマは市が決めて、そのテーマに沿ってご講義いただく旨を説明し、了承していただいている。講座の時間についても、講師はとてもお忙しい方なので、その時間しか空いておらず、講師のご都合に合わせたものだった。

杉井委員：だけれども、そこで集めなければいけない訳だから。

島田委員：僕は司会をやりたかったのが不愉快だ。

杉井委員：ポスターがカラーだったら、もっと人が集まったのに。

横須賀委員：市ではカラー印刷はできないと説明があったはずだ。

次回の会議 平成31年4月2日(火) 午前10時

公民館緑分館 学習室 司会：大島委員